



洋書輸入協会会報

Vol. 29 No. 10 (通巻341号) 1995年10月

理事会報告

10月24日(火)

(一) 9月分収支報告

10月19日(木)開催の総務委員会で審議の9月分収支について総務委員長報告を承認した。

(二) 委員会報告

イ. 総務委員会

会員資格について見直しを具体化する。

ロ. ダイレクトリー委員会

1996年度版の編集に向け作業を開始するが、Agent リストに Video, CD-ROM 等のニューメディア商品の項目を新設する予定。

(三) 次期定時総会

1996年度総会の開催を5月17日(金)に行うこととした。

海外ニュース

1995 年上期米国書籍輸出統計

米国商務省の報告によると、'95年上期の書籍輸出額は昨年上期に比較して2.5%の伸びで、8億2970万ドルにのぼった。輸入は輸出よりも伸びが急速で、19.2%増の5億7170万ドルとなった。その結果、米国の書籍業における黒字は'94年上期の2億2250万ドルに比べて31.3%減少し、1億5290万ドルとなる。

今回は米国の書籍輸出相手先のトップ15カ国に、デン

マークを抜いてブラジルが加わった。

カナダは例年通り米国書籍の最大の輸出先で、前年上期比8.4%増の3億2690万ドルとなっている。2位の英国への輸出は10.6%増で9700万ドルである。

特に目立っているのは韓国への輸出額の増大で、前年上期の920万ドルから1320万ドルへ実に43.7%増となった。この他に輸出額の伸びが顕著な相手国はブラジルの43.1%増、シンガポールの32.4%増、フランスの23.3%などである。

〔主要輸出相手国 1995年〕 単位 \$1000

	1995年上期	前年比
カナダ	\$354,257	8.4%
英国	96,981	10.6
日本	58,639	10.1
オーストラリア	58,130	-17.7
ドイツ(旧西側)	22,475	-5.6
シンガポール	22,020	32.4
メキシコ	19,854	-51.3
オランダ	14,748	-17.9
韓国	13,156	43.7
台湾	12,533	21.2
ブラジル	11,180	43.1
香港	10,927	0.1
フィリピン	10,656	28.4
フランス	10,508	23.3
南アフリカ	8,582	-10.0

—BP Report 1995.9.25より抜粋—

目次

理事会報告	1	100歳おめでとうございます	3	電子メール(E-Mail)による コミュニケーション	5
海外ニュース	1	文化厚生委員会だより	4	洋書輸入協会史(100)	6
DATABASE '95 TOKYOについて	2	総代理店ご案内	4	広告	8

『DATABASE '95 TOKYO』について

今年も残暑が残る9月6日から8日の3日間にわたって東京・池袋サンシャインシティで『DATABASE '95 TOKYO』(以下DB東京)が開催されました。DB東京は、データベースに関わる100社近くの出展社がブース展示及びセミナーを通して、3万人を越える来場者とふれあうデータベース業界の一大イベントです。来場者としては、民間企業から官公庁、大学、研究機関にいたるまで様々な分野の人がおり、海外からの出展者・来場者も多く見られました。主催は、データベースの業界団体である財団法人データベース振興センターと日本データベース協会、共催は日本経済新聞社です。

ひとくちにデータベースと言っても、その人それぞれ受けとめ方が違います。ある人は、DIALOGと呼ばれる世界最大の商用データベースサービスを、他の人はOracleといったDBMSなどの大規模なシステムを思い浮かべるでしょう。一言でDB東京で扱うデータベースの範囲を説明するとすれば、利用者側におけるデータベースという事になるでしょう。商用データベースや社内向け簡易データベースなどがこれに該当します。

商用データベースでは、世界最大規模のDIALOGをサービスしているKnight-Ridder Information社や日本科学技術情報センターがサービスしているJOISなどのシステムをはじめ多くの会社の展示がありました。また、データベースの中身としては新聞情報、企業情報をはじめ特許、化学構造式を検索できるシステムなども多く展示されておりました。

また、社内向け簡易データベース作成システムも多く展示されており、パソコンで簡単に画像などを取り込むことができるマルチメディアデータベースやUNIX上で高速にテキスト文書を検索できるシステムなどもあり

ました。その他、出展各社が掲げた個別のテーマにより、サービス・製品・アプリケーションなどを展示会来場者にスクール形式で紹介するプレゼンテーションセミナーも同時に行われました。

これらのデータベースは様々な媒体を通して提供されますが、従来および現在も主流な電話回線を利用したオンラインデータベース、大容量のイメージ・データも扱い提供できるCD-ROMによるサービス、近年成長が目覚ましいインターネットによるサービスなど情報の提供手段が多様になってきました。また、インターネットの登場により、従来のデータベースを提供するオンラインとかCD-ROMといった媒体としての概念が崩れてきて、国境と言う概念もなくなってしまいつつあります。その他、以前はMS-DOSによるテキストベースでのデータベース検索が主流でしたが、ここ数年はMS-Windowsやマッキントッシュでグラフィカルベースなわかりやすい検索システムが普及しつつあります。

以上のように、オンラインネットワークの整備・拡充が進むにつれ海外のデータベースも身近になる一方、急激な情報技術の進歩により、データベースのシステムも高度化しています。現在では、データベースの検索も比較的簡単にできるようなシステムも開発されております。DB東京においては、このような様々なシステムや事例を実際に見て体験することが出来ましたが、データベース業界も変革の時期に差しかかっている事を強く感じました。

最後に、我々に有益な情報をもたらしてくれるデータベースについてより理解を深めていただくためにも、DB東京のような催しに積極的に足を運んでいただくことをお勧めいたします。

洋書輸入協会会報・広告掲載料等のご案内

全頁(表紙④)(max. タテ 20 cm×15 cm)	15,000円	(表紙④)二色刷	18,000円
2分の1頁(記事中)(max. タテ 10 cm×15 cm)	8,000円	(4頁・5頁)二色刷	10,000円
3分の1頁(記事中)(max. タテ 7 cm×15 cm)	5,000円	(4頁・5頁)二色刷	6,000円
4分の1頁(記事中)(max. タテ 5 cm×15 cm)	3,000円	(4頁・5頁)二色刷	4,000円

(完全版下の原稿を送付のこと)

総代理店案内 1行(25字)あたり 300円

その他の有料扱い 上記以外のもので、その内容が宣伝・広告の要素が強い記事については、寄稿者と相談のうえ有料扱いとすることがあります。料金はおおむね上記に準じます。

※ご不明の点は事務所にお問い合わせください。

100歳おめでとうございます

服部正喬さま（国際書房）の長寿を祝う

国際書房の服部正喬氏は本年10月8日、満百才の誕生日をお迎えになりました。

長寿社会といわれ、業界にもご高齢のかたが多数いらっしゃいますが、その先頭にたって、ご健在の服部さんに、心からのお祝いを申し上げます。

頌 服部正喬氏百歳寿

ながらふはただに尊きものならじ究めて深き
君を称へむ

この国より消ゆるに惜しき背柱の直なる明治
君は保てり

秋山 昭夫

（国際書房の服部貞夫社長に、お父上の百歳の賀に当たって資料をお願いしたところ、「ご略歴」や、国際書房創立50年記念（1970）にまとめられた「洋書輸入50年一思い出話」をお送りいただいた。いずれも貴重なものであるが、編集子には、それに添えられた服部社長のお手紙が大変面白かったので、以下に「ご略歴の一部」と「近況報告」のほんの一部を抄出させていただく。）

「服部正喬氏略歴抄」

- (1895) 明治28年 10月8日 三重県に生まれる。（この年の4月日清戦争終わる。）
- (1919) 大正8年 神戸高商を経て東京高商（現一橋大）を卒業。
- (1921) 大正10年 兄春一が創設した国際書房（神戸）に入社。
- (1927) 昭和2年 10月、株式会社国際書房設立（神田駿河台）

(1940) 昭和16年 海外出版物輸入同業会（後の洋書輸入協会）創立。（当時の理事社：国際・丸善・南江堂・三省堂・三越・バルト商会）

(1945) 昭和20年 3月東京空襲にて会社焼失。社員軍隊にとられ社長一人のみ。焼跡のバラックにて営業。

(1962) 昭和37 本社ビル完成。社員23名。

(1972) 昭和47年 勲五等瑞宝章を叙勲（76歳）。

(1976) 昭和51年 会長就任（81歳）勤続実に55年。

(1991) 平成3年 非常勤相談役（95歳）。

(1995) 平成7年10月、百歳。

「服部貞夫氏のお手紙より」

…略歴ざっとかくの如し。平成4年（1992）の暮に風邪をひいて倒れるまで病いしらずの丈夫さ！ 酒も煙草もやらず、若い時は朝必ず水を浴び…冬は水道が凍るのでタライに水を張り、朝、その水を割って浴びるのです。学生だった私はその音で風邪をひきました。

戦争中は楽だった（会社が焼けた事は別にして）とは思議な感じですが、生活上洋書売りたい人も多く、又軍や大学はどうしても買いたかった、という事もあると思います。その値つけをする信頼される業者が少なく競争が余り無かったということではないでしょうか。なかなか行動的だったようです。

趣味というのは“静座”のみ。これは学生時代からのもので、この方面は一寸した大人だったらしいのですが、家庭では一切ケーエンされていたのでよく判りません。

家庭では厳然とひたすら威張っていました。

息子達（私の兄弟です）も半数以上が定年を越えて、マァ同じ様な年寄りの部に入るのでしょうが、親爺さんとの会話では皆苦労しています。

現在、郊外の高齢者施設にあります。そこでも最長老で、やはり威張っています……

第77回 72会ゴルフコンペ

小金井カントリー倶楽部 1995年9月22日(金)

ようやく長かった猛暑から開放され、ゴルフシーズン到来。先週関東を襲った大きな台風も北に過ぎ去り、暑くなく、風もなく芝コンディション良の、ゴルフには絶好の日でした。今回は、(株)紀伊國屋書店 松原社長に是非一度とお願いして、メンバーになられている、天下の名門コースのスタートをとって頂きました。JR 中央線小金井駅から5分。武蔵野の面影を残している住宅地のど真中に位置し、又すぐ隣には広大な小金井公園が。ウォルター・ヘーゲン設計のこのコース、フラットで易しそうに見えるが、グリーンは砲台で周りは深いバンカーに囲まれ大変。初参加の松原社長、池田さん(極東書店)、小関ジュニア(名著普及会)を迎え、24名での熱戦となりました。抜け出したのは諏訪さん(丸善)。昨年12月初優勝があるものの、3月には23位(ブービー手

前)で馬券の予想もほとんど無印。グロススコアを20も縮めての優勝。2位には今回最年少でパワフルなゴルフで攻める小関ジュニア、後半なんとかかまとまり、馬券中穴。毎年10ヤード飛距離が落ちているという三宅さん(丸善 OB) もしぶとい。

		G	HC	NET
優勝	諏訪弘史(丸 善)	101	24	77
2位	小関敦元(名著普及会)	98	20	78
3位	三宅昭三(丸 善 OB)	88	8	80
B G	斉藤純生(U. P. S)			
D C	三宅昭三(丸 善 OB) 高井省吉(紀伊國屋)			
	小関敦元(名著普及会) 和田 茂(大洋交易)			
N P	尾内昌弘(丸 善) 諏訪弘史(丸 善)			
	斉藤純生(U. P. S) 高井省吉(紀伊國屋)			

総代理店ご案内

◎ユナイテッド・パブリッシャーズ・サービス社

Tel. (03) 3291-4541

Fax. (03) 3293-3484

N. チョムスキーの最新刊

The Minimalist Program. By Noam Chomsky.
432pp.

クロス版 (ISBN 0-262-03229-5) 予価 ¥6,960

ペーパー版 (ISBN 0-262-53128-3) 予価 ¥9,910

1995年11月刊行予定 (MIT Pr.)

アメリカ人名録 最新版50版

Who's Who in America, 1996. 50th edition

ISBN 0-8379-0157-X 予価 ¥94,300

1995年10月刊行予定 (Marquis Who's Who)

世界人名録 最新13版

Who's Who in the World, 1996. 13th edition

ISBN 0-8379-1115-X 予価 ¥67,850

1996年1月刊行予定 (Marquis Who's Who)

◎ユサコ株式会社

Tel. (03) 3502-6471

Fax. (03) 3593-2709

NATIONAL ACADEMY OF SCIENCES

(雑誌のみ)

Proceedings of the National Academy of Sciences

(雑誌及び書籍)

AMERICAN FISHERIES SOCIETY (USA)

(雑誌のみ)

THE ENDOCRINE SOCIETY (USA)

Endocrinology

Journal of Clinical Endocrinology

& Metabolisms

Molecular Endocrinology

Endocrine Reviews

上記いずれも1996年1月より

電子メール(E-Mail)によるコミュニケーション

丸善株式会社 松田和之

1. インターネットのサービス

軍事目的から成長し、学術商用へと発展してきたインターネットのサービスは、次の5つに代表されます。

- (1)電子メール(E-Mail)
- (2)ネットニュース(NetNEWS)
- (3)ファイル転送(ftp)
- (4)リモート・ログイン(telnet)
- (5)情報検索と情報発信(WWW, Gopher など)

特に電子メールによるコミュニケーションは最も基本的なサービスであり、4000万人とも言われる人たちが国境や時間を超えてメールのやり取りをしています。

従来より、電子メールは一部の企業や大学などが独自に構築したLANや商用のパソコン通信でも利用されていましたが、インターネットでの電子メールはその規模の大きさからワールドな次世代の情報通信基盤となりつつあります。最近ではパソコン通信とインターネットが相互接続され、インターネットの利用者とパソコン通信の利用者間での電子メールのやり取りが可能になっています。

2. 電子メールの活用

企業経営における四大基本要素は人、物、金、そして情報です。今やそれら全ての情報をデジタル化し、データベースを構築し、そしてネットワークを介して戦略的に活用する事が企業経営の重要なテーマになっています。

そこではキーボード・アレルギーという言い訳は通用せず、face-to-faceを重視しながらも組織としての意識変革が迫られています。電子メールの活用はその第一歩とも言えます。また、電子メールは個人対個人の通信が基本ですが、同報通信も可能であり、様々な機器メーリングリストによりバーチャルソサエティを組織し、グループ内での連絡や議論にも活用しています。丸善においても社内ネットワーク網とインターネットが相互接続され、ワールドワイドな電子メールシステムが稼働を開始しました。

3. 電子メールの仕組み

全世界のインターネット利用者との間で電子メールの送受信を可能にするには、自分と送信先を識別できるアドレスが必要になります。これがIPアドレスというもので、小文字の英数字と@で表記されています。

インターネットでは“TCP (Transmission Control Protocol)/IP (Internet Protocol)”という一群のプロトコルが用いられています。システム管理者以外の利用者ならばそれほど深く理解する必要はありませんが、IPアドレスは重要です。実際にコンピュータ内で処理されるIPアドレスは数字なのですが、普段利用する際には次の項のように分かり易い名前(ドメイン名)で表記されています。

4. 基本的なIPアドレス

k a z u @ m a r u z e n . c o . j p

① ② ③ ④

①: 個人名 ②: 組織名 ③: 組織の種類 ④: 国名。

@で区切られて、左側が人名、右側がドメイン名を表しています。現在ではそのユニーク性を維持するために、階層構造によるサブドメインを設定したIPアドレスが多くなっています。coは企業、acは大学・研究機関、adはネットワーク管理組織、goは政府機関、orがその他の組織を表します。

5. IPアドレス取得法

インターネットとの接続は専用線IP接続と電話によるダイヤルアップIP接続が代表的です。一般的には商用ベンダ(プロバイダ)との加入契約で利用が可能になり、IPアドレスも交付されます。パソコンとモデムとインターネットを利用するためのソフトウェアを準備し、プロバイダーへの申し込みを行います。最近ではそれらがバンドルされたスターキットも販売されており、雑誌の付録にソフトが添付されていることもあります。

次回はこの他のサービスについて具体的にご説明いたします。

洋書輸入協会史 (100)

洋書輸入協会顧問 相 良 廣 明

116 昭和40年不況と、構造不況論

昭和40(1965)年5月7日の、洋書輸入協会総会席上で、桜井理事長代理から、「構造不況といわれている現下の経済情勢は愈々長期化の様相を呈し、多くの倒産が続いている折柄(中略)、協力一致この不況を乗り越えたい」との発言があった。

40年不況ともいわれるこの年の不況は、昭和39(1964)年10月の、東京オリンピック終了と共に始まり、昭和40年10月に底を打ったものである。39年11月には、高度成長論者の池田首相が退陣、安定成長を唱えた佐藤首相が登場、40年3月には山陽特殊鋼が、戦後最高といわれた500億円の負債を残して会社更正法の適用を申請、5月には山一証券が事実上の倒産ともいえる再建計画を発表している。このあたりから40年不況が、「高度成長のゆがみ論」から「構造不況論」へと切り変わっていく。

40年不況は、昭和30年代の日本経済と、40年代のそれとをつなぐ重要な継ぎ目であって、この構造不況を経て41年から45年上期に及ぶいざなぎの大型景気を迎えることとなる。

117 通関関係事項

昭和40(1965)年度の通関に関する問題には、大きなものはない。しかしトピック的なものがいくつかあるのでそれを記録しておこう。

117.1 通関にまつわる犯罪

- (1) 韓国への書籍の輸出が困難なことに目をつけ、輸出のライセンスを偽造して売り歩いている者がいた由。
- (2) ILの盗用が100万弗に及んだ事件が発生した。多分、金塊密輸代金の支払いにあてたものと推測されている。

117.2 身分証明書提示の件

前記(2)の犯罪対策のためであろうか、昭和40(1965)年12月15日付、JBIA No.219により、次のような通知が出された。

今般東京税関東京外郵出張所より、書籍及び定期刊行物の事後通関については、1月4日より次の事項を厳守実行される様協会宛に通達がありましたのでお知らせ致します。

書籍及び定期刊行物の通関の際は、各社発行の身分証

明書を担当官に提示し、許可を受けてから台帳に記載し、輸入報告書を提出、ライセンスに税関押印を受ける。

台帳の記載方法を次の通りにする。(以下略)

118 官公署、教育機関等購入図書輸入担保比率の改正(無担保となる)について

昭和41(1966)年3月26日付、JBIA No. 225では、頭記の件を次のように会員に知らせている。

昭和36年9月18日付輸入注意事項第32号(官公署、教育機関等輸入担保比率確認書について)が改正され、無担保となりましたからお知らせします。多少の面倒はありますが精々御利用下さい。

御承知とは存じますが、上記の適用を受けることが出来る機関とは下記の通りです。(以下略)

この官公署、教育機関等の購入図書輸入担保率がゼロに改正されたことは、40年不況がそろそろ終熄し、いざなぎ景気が始まりつつある経済情勢を示すものである。

119 昭和40(1965)年度(s40.4月~s41.3月)の規約改正、理事改選、新入会員、退会者、業界消息など

119.1 規約改正

(1) 理事増員

昭和40(1965)年5月10日の定時総会における現行定員9名の理事選挙の後、新理事会より本部理事1名、関西支部理事1名の、計2名の理事増員の提案があり可決された。この件については後日協会の臨時総会を開き、規約の改正と同時に増員新理事の選挙を行いたい旨の了解を得ている。

次いで6月10日付、JBIA No. 212により、規約第2章第6条および第7条を次のように訂正したい旨の案を配布した。

第6条 本会には左の役員を置く

理事長 1名

理事 10名以内(旧規約8名以内)

第7条 理事は会員中より総会に於いて選任する。但し内2名(旧規約1名)は関西支部より推薦されたるものを選任する。理事長は理事の互選により決定する。

この訂正案は、7月9日の臨時総会において議事に上

程し可決され、増員理事の選挙が行われている。

(2) 名誉会長および名誉理事の規定新設

昭和40（1965）年5月7日の協会定時総会における理事改選において、病氣療養中の福本理事が選出に洩れるということがあったが、総会席上ではこれに対し、福本初太郎氏の多年本協会に尽くされた功績を称揚するため、名誉理事のような制度を設ければいかがであるかとの動議が提出され、議長より議事に取り上げたところ、賛成多数で可決された。よって理事会としては早速規約を検討し、次のように改正する旨を、5月25日付、JBIA No. 211 で会員に通知した。

福本初太郎氏名誉理事御就任のお知らせ

前便5月10日付（JBIA No. 210）でご報告申し上げました通り、総会の決議に従い、規約第十一条を下記の通り変更し、福本初太郎氏を名誉理事に推薦、御快諾を得ましたので茲にご就任のご案内を申し上げます。

第十一条 本会は名誉会長および名誉理事を置くことができる。名誉会長および名誉理事は、理事会の決議により理事長これを推薦する。（以上）

(3) 会費増額

昭和40年5月10日付、JBIA No. 210 の定時総会報告では、会費値上げの件を次のように報じている。即ち、「昭和40年度の予算について、諸物価昂騰の折柄、最前年並の会費800円では無理が生じましたので、本年7月から月1,000円に上げたい旨説明があり、会員の御賛成御承認を得ました。従って関西支部還附金は月400円となります。

(4) 如文出版除名とこれに伴う規約改正

昭和40（1965）年10月30日付、JBIA No. 218 では、10月25日に開催された臨時総会において審議された、如文出版の除名の件を決定した旨を記した後、これに伴う規約改正を行い、かつ入会審査基準も更に厳重にすることとして内規を定めた。これについては JBIA 会報 Vol. 29 No. 8、1995年8月号所載、協会史 No. 98 の第113章第5項「如文の件再発防止のための規約改正と内規設定」に述べたので省略する。

119.2 理事改選及び増員理事選挙、名誉理事推薦

昭和40（1965）年5月10日付、JBIA No. 210 の定時総会報告では、理事改選の結果を次のように記している。

次いで理事の選挙を行い、エンデルレ書店得能氏と、ゲーテ書房村山氏に御願いで投票51社分を開票した結果、下記の方々が当選されました。もっとも国際書房と

東光堂書店は19票の同点となりましたので、決戦投票の結果国際書房が当選されました。

丸善株式会社	47票
株式会社紀伊國屋書店	43票
日本出版貿易株式会社	38票
海外出版貿易株式会社	35票
日本洋書販売配給株式会社	30票
株式会社ユー・エス・ エンシアディック カンパニー	24票
三洋出版貿易株式会社	22票
株式会社 国際書房	19票
旭屋書店	関西支部推薦

次点 東光堂書店 （以上）

この結果により、長らく理事を勤められていた福本書院の福本初太郎氏が、病氣療養中のために選に洩れたが、動議により名誉理事に推薦され決定した。なお福本書院の代わりには三洋出版貿易が新しく選出されている。

次に規約改正により増員されることとなった理事2名には、7月9日の臨時総会における選挙の結果、昭和40（1965）年7月10日付、JBIA No. 213 に次のように記されている。

定時総会の御了解に基づき、本会規約第6条および第7条を御通知済の通り訂正の上御承認を得ましたので、直ちに理事補充選挙を行い、御郵送分を含めて42票を開票した結果は下記の通りです。

東光堂書店 石内茂吉氏 23票（総会次点者）

（次点 竹内書店 5票）

緑書房 丹羽正之氏（関西支部推薦）

119.3 退会者

昭和40（1965）年10月25日に開催された理事会において、9月25日付で東京・新宿区の有限会社 内田大学堂書店 代表者 内田仁氏より、また10月24日付で津市の株式会社 文教社 代表者 小林重芳氏より、それぞれ脱会届が提出された。理事会において検討の上、会費納入の関係上2社共に4月に遡って受け付けることとした。

また、前述した通り、株式会社 如文出版 を10月25日に開催された臨時総会において除名と決定した。

次に昭和41（1966）年1月31日付、JBIA No. 223 において、パーキンス オリエンタル ブックスの脱会が会員に通知されている。以上で昭和40年度の退会者は計4社である。

（続く）

Bibliographisches Institut社のドイツ語辞典

ドゥーデン-ドイツ語大辞典 第2版

DUDEN-Das große Wörterbuch der deutschen Sprache in 8 Bänden

2., völlig neu bearbeitete und erweiterte Auflage

約4,000ページ、16.0×23.0cm 各巻¥7,840

Meyers Neues Lexikon in 10 Bänden

見出語150,000、カラー図版16,000以上、各巻528ページ

Gebunden in farbigen Jaquard-Leinen 全巻¥103,880

Meyers Grosser Weltatlas

5., neu bearbeitete Auflage

25.5×37.5cm 538ページ ¥26,290

ドイツ本国においても最も権威ある語学辞典

Der DUDEN in 12 Bänden (ドゥーデン語学辞典)

各巻¥3,820

Band 1 : Die deutsche Rechtschreibung (正書法辞典)

Band 2 : Das Stilwörterbuch (語法辞典)

Band 3 : Das Bildwörterbuch (図解辞典)

Band 4 : Die Grammatik (文法辞典)

Band 5 : Das Fremdwörterbuch (外来語辞典)

Band 6 : Das Aussprachewörterbuch (発音辞典)

Band 7 : Das Herkunftswörterbuch (語源辞典)

Band 8 : Die sinn- und sachverwandten Wörter (同義語辞典)

Band 9 : Richtiges und gutes Deutsch (正しくて良いドイツ語)

Band 10: Das Bedeutungswörterbuch (語義辞典)

Band 11: Redewendungen und Sprichwörtliche Redensarten (慣用表現辞典)

Band 12: Zitate und Aussprüche (引用句と格言)

Bibliographisches Institut/Mannheim

日本総代理店

日本出版貿易株式会社

〒101 東京都千代田区猿楽町1-2-1 TEL (03) 3292-3755 FAX (03) 3292-3764

1995年10月

通巻第341号

洋書輸入協会

編集者 神田 俊二

〒103 東京都中央区日本橋1-21-4 千代田会館5階20号室

☎(03) 3271-6901 FAX. (03) 3271-6920

印刷所=藤本綜合印刷株式会社